

◆ JR花壇に夏の花植える

梅雨の中休みとなった6月30日は、JR古賀駅前の花壇に古賀西校区コミュニティ関係者1名と会員8名が集まりました。

この花壇では、冬期から初夏かけて咲く花が終わり、植替期に当たっていたことから、29日の植え付け予定が雨で中止されていたことから、リコリス、ペチュニア、サルビア、ジニア、ニチチソウ、マツバボタンと多様な花苗を植え付けました。これから本格的な夏の古賀駅前を色とりどりに飾ることでしょう。



◆ 期待に応え樹木札取付！



7月14日は古賀グリーンパークの樹木に、公園を訪れる利用者の要望に応じて、新たな樹木札を取り付けました。

この日は梅雨の合間の蒸し暑い日でしたが、6名の会員が公園入口に集まり、リーダーから取付要領と段取りの説明を受けて、1グループがビニールテープに樹木の名前を書いて下げました。続く2グループと3グループが交互にテープに従って、樹木札を選び、対象木に取り付けました。公園を散歩中の利用者から、「嬉しいです。心が豊かになります」との言葉を激励と受け、さわやかな一日になりました。

◆ 子ども中心の行事検討中

7月13日は「古賀市ふるさとの森づくり協議会」メンバーの薛会長、古賀市都市計画課、九電株、緑のまちづくりの会の12名がグリーンパークに集まりました。

今回の合議は、グリーンパークをメイン会場に(株)九州電力が主催し、古賀市等が共催となるイベント場所の選定と日程を決めることで、開催日を11月23日に決定しました。

イベントでは、子ども達を中心にした森と愉しく遊ぶ環境活動を計画しています。内容は、古賀独自の発想で丸太切り、どんぐり工作、竹くるくるパン焼き等、様々な取り組みを入れた楽しい催しなるよう関係者に働きかけることにしています。



◆ 初入り・リーパス新花壇



7月12日の“はなちどり”定例日は、朝方驟雨がありました。作業を始める頃になると雨は止み、6名は「リーパスプラザこが」敷地内に新設された花壇の花植え準備として、腐葉土などを撒いた後、耕耘機で攪拌して土壌作りを終えました。一方で、先に植え付けたマツバボタンの欠落箇所に補植もしました。

他の4名は、このところ雑草の成長が著しい“はなちどり”花壇の手入れで、花期を過ぎた古株や雑草を抜いて、花を待つ床作りが整いました。最後は、楽しい茶会に入り談笑してこの日を終わりました。

◆ 夏山の草刈を終わる！

真夏となった7月21日は、6名の会員が医王寺山の草刈に挑戦しました。

医王寺山の草刈では、皆さんそれぞれ汗をいっぱい流しましたが、頑張った甲斐あって、この日をもって全域の草刈が終わりました。

医王寺山の植林地は、前生樹を残した後に植林した区域で、二段林になっています。中でもキリの成長は著しく、胸高直径(地上120cmの高さを計測)は、26cmに達したキリも見られます。



◆ 古賀東小で「お花は元気？」

七夕の7月7日、古賀東小学校の3年生77名は、先に独居高齢者宅に“お花をどうぞ”と届けた「ペチュニアの花は、その後お元気ですか？」と尋ねました。

子ども達は、“えんがわくらぶ”の方と当会員が同行し、訪問先の高齢者が元気であることを気遣い、届けた花が鮮やかに咲いていることを確かめて、炎天の中、水筒の水を飲みながら学校に帰りました。



◆ 植林地外周・草を刈る

7月6日と9日にかけて、グリーンパークコスモス館外周道路に面する植林地の草刈が完了しました。

会員が毎月ゴミのポイ捨てを回収していますが、草が伸びて、林内を覗きにくい状況になっていました。今回の草刈でゴミ回収が容易になり、翌10日に会員2名でゴミ拾いを済ませました。

◆ 古賀西校区コミュと話し合い

JR古賀駅前西側花壇の手入れについては、地元の古賀西校区コミュニティの方々と、協働で花壇づくりすることが持ち上がっています。

6月29日は“はなちどり”の定例日でしたが、梅雨期の雨に見舞われたことから、西校区コミュニティの2名と互いの現状を話合う場を急遽設けました。コミュニティ側としては、「JR古賀駅前は、古賀市の玄関口であり、大切な場所と認識しているが、地区行事が多く高齢化もあり、現段階では地区活動に取り入れにくい現状があるので、当面は数名の有志で緑の会と協働して活動したい」との意向でした。当会としては、「関係者と連絡を取り合い、互いにJR駅前花壇を良好な花壇と維持したい」と話を結びました。

◆ 「山の日」は8月11日!

8月11日は、制定後最初の祝日「山の日」です。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ということで制定されています。山といえば、山稜、山林、鉱山等に通じます。森を育てる当会としては、森の恩恵に注目し、水源、土砂流失防備、防風林、景観、酸素放出、木材生産と様々です。これからは、森林のCO₂吸収効果が、地球温暖化防止上で大きく注目されます。

◆ ハマボウ祭りに出店

7月16日は、花鶴公園でハマボウ祭りがあり、会員がサルビヤ、百日草などを販売しました。

四方山話

我が家の庭で園芸福祉

我が家の庭には、狭いながらも愛犬ももちゃんの運動場(?)と柿・カボス・温州みかんの木、藤棚・紫陽花、それに所狭しときゅうり、なす、ピーマン、トマト、ミニトマトの野菜苗と去年のこぼれ種の青紫蘇などが窮屈そうに育っています。

土は、生ごみを米ぬかに混ぜたものを埋め込み、油粕・牛糞・鶏糞を入れて無農薬で野菜などを育てて(正確には育て)います。

苗を買ってきて、植え込み、「早く大きくな〜れ」と水をやり、害虫がないか葉の裏を見て、卵や成虫はつぶして「負けるな、頑張れ!」と声掛けし、脇芽を摘んで余分な栄養負担を軽くし、伸びた枝に添え木をあてて「折れないで花を咲かせて、実になってね」などと言いながら、成果(収穫物)を期待している私です。

先日、うれしい収穫物(写真)がありました。きゅうり4本、ピーマン12個、なす1本、小ぶりなトマト2個、ミニトマト28個と青紫蘇です。もちろん、野菜苗には「ありがとう!」と、忘れずに声掛けをしました。

カボスは、今年もたくさん実をつけているので、収穫したら、おすそ分けしますね。

“はなちどり”には参加できませんが、私は、今、植物(野菜)に癒されてます。

新町直子

